筑波大学
TEACHプログラム主催講演会

当日プログラム

◆ 2022年**1月8日(土) 14:00～16:00**

GERMANY

『創作ノートを覗き込む
―ドイツ啓蒙期からロマン派の知識人を中心に』

西南学院大学国際文化学部・講師　二藤拓人氏（司会：佐々木優香）

◆ 2022年**1月11日(火) 14:00～16:00**

KOREA

『現場からみる韓流のあれこれ ―K-pop・ドラマ・映画』

音楽監督　パク・セヨン氏ほか（司会：嚴錫仁）

◆ 2022年**1月11日(火) 16:30～18:30**

JAPAN

『劇作という仕事―創作にとっての越境と異文化交流』

劇作家・脚本家　長田育恵氏（聞き手：平石典子, 司会：明石純一）

参加のお申し込みはQRコードからお願いします。後日zoomリンクをお送りします。
参加申し込み期限は１月７日（金）までです。

2022.1/8(土)・11(火)
オンライン開催

主催：筑波大学TEACHプログラム（国際日本研究学位プログラム・国際公共政策学位プログラム）
問い合わせ：teach-office@germanistik.jp
TEACHウェブサイト：http://teach.hass.tsukuba.ac.jp/

筑波大学
TEACHプログラム主催
講演会

GERMANY

『創作ノートを覗き込む—ドイツ啓蒙期からロマン派の知識人を中心に』
「筆記用具はわれわれが思考するときに共に作業する」—これは強度の近視であった哲学者ニーチェが、当時開発された盲人向けタイプライターで打った一文だ。手書き、タイピング、あるいはスマホのフリック入力、どれが今日の思考を形作っているだろう？これまでの人間はいかにして「筆記用具」と共に思考してきたのだろう？こうした問いに対し、西南学院大学国際文化学部で教鞭を取る二藤拓人氏を招き、ノートブック、原稿用紙、小さな紙切れ等々に書かれた古今東西の作家たちの手稿、特に18世紀ドイツにおけるノートの書き方について、メディア文化学の知見から解説する。

KOREA

『現場からみる韓流のあれこれ—K-pop・ドラマ・映画』
韓国発の映画・ドラマ・音楽、いわゆる韓流エンタテイメントの世界進出が著しい。アメリカアカデミー賞の受賞、ネットフリックスでのK-ドラマの席巻、BTSの世界的な活躍など、その勢いはとどまるところをしらない。韓流制作の第一線で活躍し、日本では「ロマンスは突然に～僕が恋した君とトマト～」の音楽監督として知られるパク・セヨン氏から、韓流の歴史・原動力・魅力のあれこれについて、生の情報を聞き出す。数々のヒット作を手掛けるシナリオ作家、キム・ダヨン氏の参加も予定。

『劇作という仕事—創作にとっての越境と異文化交流』
創作の世界に、越境と異文化交流体験はなにをもたらすのか。劇団「てがみ座」を主宰し、劇団四季やPARCO劇場、ホリプロなどの舞台公演でも力強い筆致で新作戯曲を書き続け、話題作を生み出している劇作家・長田育恵氏を講師に迎えて話を伺う。長田氏は文化庁の「東アジア文化交流使」を務め、ソウルにも派遣された経験もある。劇作という仕事について、また、そこで異なる価値観や歴史観と出会うことについて、日本の演劇界の最前線で活躍する劇作家との対話を通して考える。

JAPAN

2022.1/8(土)・11(火)
オンライン開催